

栃木言友会会報

交流会報告 No. 184

2018年6月1日

発行責任者：古川 元一

編集責任者：古川 元一

TEL:090-3138-1507

【目次】

表紙	「K寺公園」(G県I市) 古川 元一	P 1
巻頭言		S A P 2
交流会報告	栃木言友会の皆さん	P 3~5
次回交流会案内		K T P 6

栃木言友会は皆さんが自主的に主体的、

楽しく活動できるセルフ・ヘルプ・グループです

巻頭言

自分がどう思うのか

S A

私の吃音は、幼稚園に入る前だったと思います。
幼なじみの子が吃音だったので、その子の真似をしているうちに話せなくなりました。同居していた祖母に言葉がおかしいと注意されていたと後になって聞きました。

学生時代、社会人と最初の一言が言えず、「何とかしたい。」と思い、働いて貯めたお金で吃音が治るといふ病院や催眠療法、言語療法などに通いましたが、吃音は治りませんでした。
吃音を治す事をあきらめて、結婚・出産・子育てに忙しい日々を過ごしました。

子供たちが低学年の時に栃木言友会に 2008 年に入会しました。
入会して数年は、交流会、忘・新年会などに参加していましたが、子供たちの学年が進むに連れ、学校・仕事・塾の送迎などから言友会に参加できなくなり、会員から購読会員になりました。購読会員になって、6 年です。
栃木言友会の会報は、他県で暮らす私にとっては、唯一の繋がりです。毎月、会報が届くのを楽しみにしています。

また、時間とお金の都合がつけば、交流会に参加したいと思いますので、その時はお世話になります。

私は今、2 年前から K 市の N 病院に言語聴覚士の K 先生が入社して吃音治療を始めたので、月 1 回、リハビリという形で通院しています。

K 先生自身、吃音者なので安心して話を聞いてもらえます。治療は、気持ちが楽になる練習をしているので、2 年前より気持ちが楽になり、前を向く事が出来ました。

「吃音は治らない。」「治らないんだったら吃音でも自分が、その事を気にしなければ、傷付く事もない。」

ようやく他人がどうかじゃなく、自分がどう感じ、どう思うのかが大事だと気付きました。



交流会報告

日時：平成30年5月26日(土)
場所：とちぎ福祉プラザ 403会議室
進行・交流会担当：古川

参加者：S、古川、F 計3名（敬称略）

1. 近況報告3分間スピーチ（新聞記者として取材したい内容は）

S：O市から来ましたSです。

家族からヘルプの要請があり、Hに2ヶ月程行っておりました。

息子からもう帰っていいというメッセージがあり、帰って来たばかりです。

おかげ様で順調に交通機関も動き、二人目の孫の出産後、娘が退院してから2ヵ月後も、皆無事に毎日を過ごしていることに感謝いたします。

新聞記事にしたいことは、働く人々の様子や、一人一人の生き方のわかる貴重な体験インタビューです。

古川：昨日、自宅の庭にトウモロコシとひまわりの種をまいてきました。

2週間位で芽が出たら、株分けをしながら植え替えをします。

8月頃のひまわりの花と、9月頃にはトウモロコシの収穫が楽しみです。

5月19日(土)、G県のT駅で友人と打ち合わせがあり、R線で向かいました。

当日は蒸気機関車が走った日であり、JRO駅にも高級カメラを手にした方がたくさん降りました。JRS駅でもカメラを持った方が数人乗車してきて、私の脇に座り暫くしてから、私から蒸気機関車を撮影されたのですかと尋ねるとそうですと返事が返ってきて、良いのが撮れましたかとお聞きすると、にっこりされD51ならではの力強い姿をカメラに収めてきました、と嬉しそうに話をされておりました。

その後、私も若い頃、少しカメラを触ったことがあり、シャッター速度や標準レンズの良い所、ズームレンズならではの手軽さなどに話が盛り上がり、JRA駅少し手前で「私はここで降ります。楽しいお話ありがとうございました」と声をかけてくださって、私もとても嬉しい気持ちになりました。ちょっとした心遣いの言葉ですが、かけて下さるとその方の気持ちが伝わります。

楽しい電車の移動にして下さった方に感謝したいです。

先日、勤務先の同僚(定年組)とS県T市に行ってきました。O町が運営している公共の宿で施設も大きいです。お部屋も広く、露天風呂もある大きなお風呂で、身体を温めた後、結婚式場のようなレストランで、地域の美味しい食事と地酒を楽しんできました。翌日、近くにある農産物直売所でトマトと椎茸を購入。

自宅に持って行きましたら、妻がとても喜んでくれ、椎茸は焼いてバターをのせて食ベトマトはそのまま塩をつけて頂き、さすがにT市で栽培された椎茸とトマトはとても美味しかったです。

N城が現在はコンクリートで作られた建物を取り壊し、当時建てられた木造に再建が決まったようですので、どのような木材を使うのかなども取材してみたいです。

F：今年の母の日に、夫と2人で、母へ贈り物をしました。

プリザーブドフラワー、ハーバリウム、ハンドバック、靴下です。

Iで、母の日の売り出しをしており、洋服も良いかな…等と考えて、時間をかけて決めました。

生花も魅力でしたが、水やりの手間がある為、プリザーブドフラワーは何年も持つのでそちらにした。

ハーバリウムは、水中花のような物です。瓶の中に花と液体が入っています。

初めて見て幻想的な雰囲気、目を奪われしばらくその場から離れられませんでした。Iで宛名ラベルを書いたので宅配の手続きは楽でした。

届いたら母から電話があり、早速部屋に飾っているとの事です。

母は難病で物が食べられませんが、花を見て以前の身体に戻ると良いです。

新聞記者であれば、G県について取材したいです。今、N朝ドラマを視ています。G県が舞台で、G県出身の絵がとても上手い活発な聴覚障害者の少女が、Tの漫画事務所に就職しますが、山あり谷ありで成長しながらTに馴染んでいる気がします。G弁を主人公やその家族が話しますが、方言に聞き入ってしまう事があります。Gの観光地、G弁、グルメについて取材したいです。

3. 感想

F：各地言友会の会報は特色があって、凄く楽しく読んでいます。

今日は8つの言友会の会報を準備しました。全国各地言友会から栃木言友会事務局に送られてきた会報は全部読んでいます。

吃音や吃音以外の事も掲載されていて、自分だけで読むのはもったいないほど多くの情報があって、各地会報の近況報告・例会報告が面白く、夫と家で話題で話したりしています。

私はF言友会会報の表紙で、鯉のぼりに猫が乗っている絵が可愛いと思い、インパクトがあったのでそちらを読みました。

S：この数日間ドリームキラーのあおりを受けて、自分の中の安心感の貯えが、だいぶ減っていたようなのですが、この交流会に参加し、お二人に守られ、何を言っても受け入れてもらえる雰囲気の中で、安心でき、安心感の貯えが、また元のようにチャージできました。有難うございます。感謝します。ついています。

古川：本日の交流会お疲れ様でした。3名の交流会でした。各地言友会様の会報読みあわせで時間がたくさん取れ、雰囲気が伝わってきて良い時間だったと思います。

私はT言友会様のMさんが書かれた「志賀の島で開催されたワークショップ」の原稿を読ませてもらい、大会の雰囲気や内容が伝わってきました。

M言友会様の会報では交流会で「言い換え」(遊び言葉で言い換えをする)も読ませて頂きました。自分の気持ちを伝える時のどの言葉が良いのか、またこの様な意味だと突っ込まれそうだからこの言い方にしましたなどの報告を読ませて頂くとこれから話す時の参考にして頂きます。

本日は3名と少ない交流会でしたが、近況報告から交流会まで盛り上げてくださり充実した時間にしてくださったことに感謝します。本日も皆さんからのご支援とご協力、ありがとうございました。

次回交流会は6月24日(日) 14時00分より交流会を開催します 会場はとちぎ福祉プラザ会議室です

今月の交流会担当はFさんです。ご期待ください

近況、交流会内容、感想も当日、またはメール（郵送）で、交流会終了後、3日以内に頂ける様ご協力よろしくお願ひします。

栃木言友会会費納入先、お近くの郵便局から

郵便局口座番号 00190-1-760304 **口座名称 栃木言友会**

会費納入 会員： 購読会員： (敬称略)

6月24日(第4日曜日 301会議室) 7月22日(第4日曜日 301会議室)

次回交流会のお知らせ

日時・開催場所：6月24日(日) とちぎ福祉プラザ 301会議室

14時00分～16時30分 栃木言友会交流会

〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 TEL028-621-2940

1階の案内は栃木言友会交流会になっています

交流会内容：近況報告 「雨の日の休日の過ごし方」

交流会Ⅰ：「吃音改善研究会」 担当：T

交流会Ⅱ：「百人一首を読もう」 担当：F

連絡先 〒329-4425 栃木県栃木市大平町新 1385-33 古川元一

携帯 090-3138-1507 E-mail:genyut@mocha.ocn.ne.jp

栃木言友会ホームページ <http://tochigi.sakkt.net/index.html>